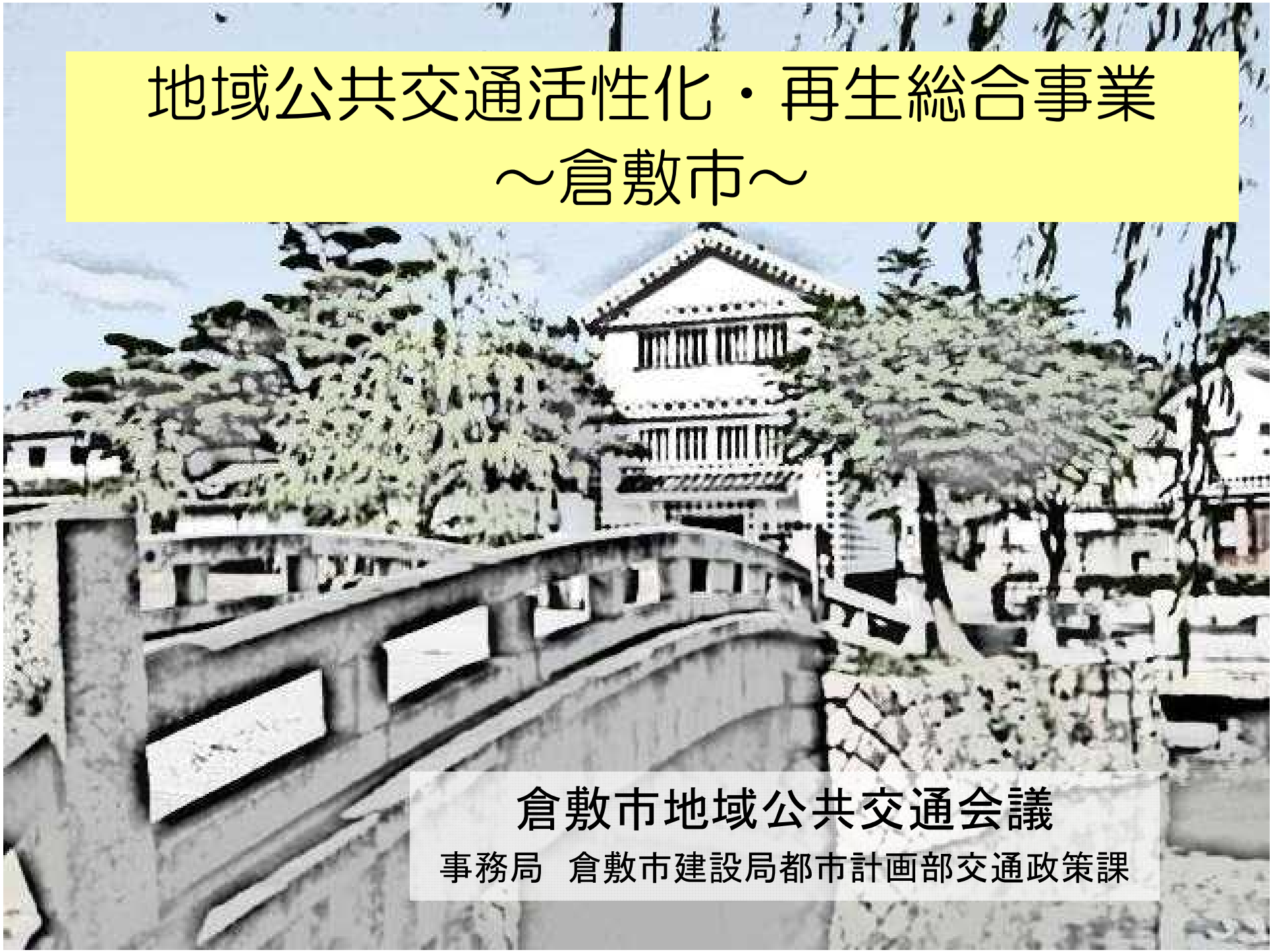
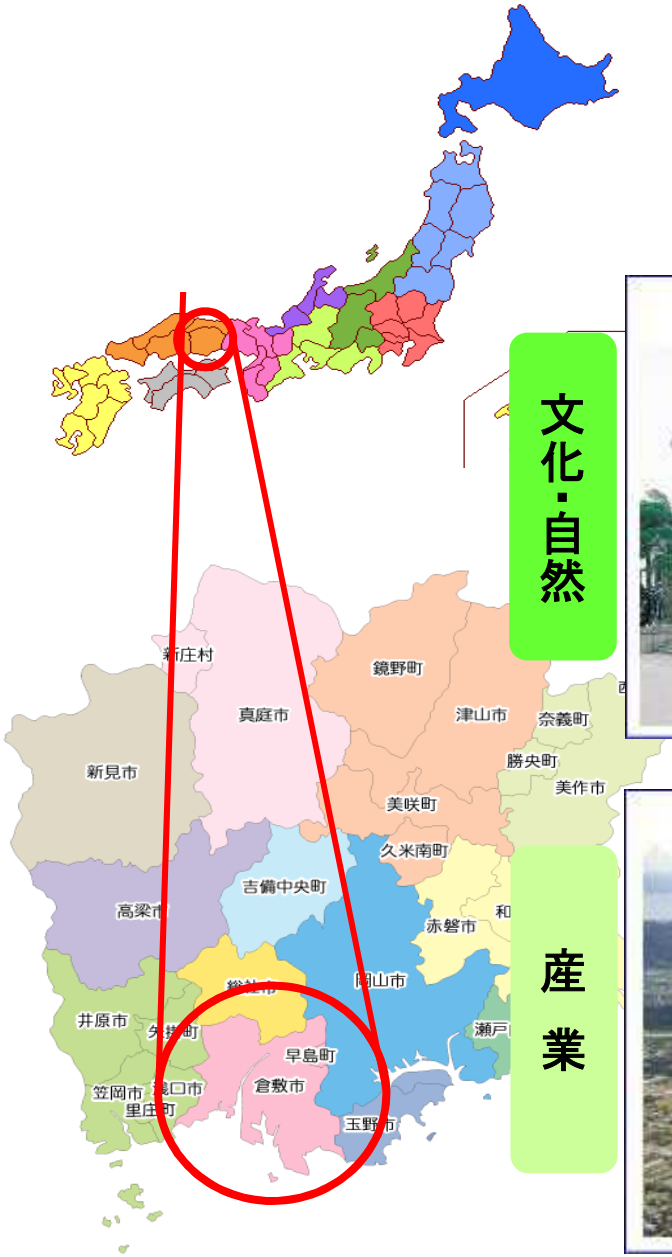
地域公共交通活性化・再生総合事業
～倉敷市～



倉敷市地域公共交通会議

事務局　倉敷市建設局都市計画部交通政策課

倉敷市の概要



人　　口：482,443人

面　　積：354.72km2

高齢化率：23%　　（H24.8.末現在）

文化・自然

産業

1　倉敷市における現状と課題

■公共交通網ネットワークの現状

◆8つの地域・地区からなる多核型の都市

（合併により多核化）

◆JR倉敷駅を中心とした、放射上に広がる公共交通ネットワーク

（横断的な路線が廃止）

◆自動車依存が高い

（約80％がマイカーを利用）

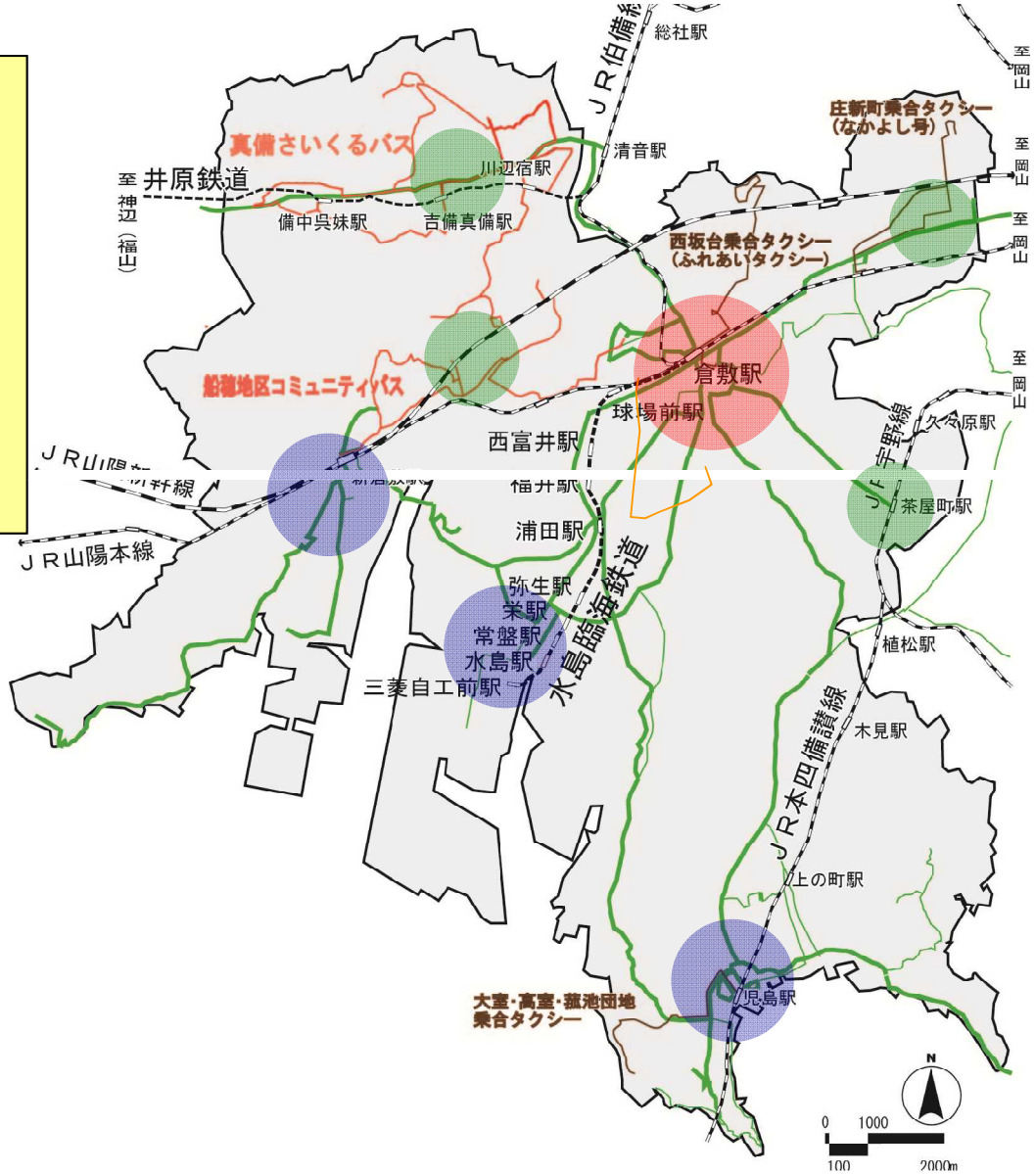
●鉄道

JR山陽新幹線
山陽本線
伯備線
本四備讃線
水島臨海鉄道
井原鉄道

●バス路線　51路線

●コミュニティバス　2地区

●乗合タクシー　4地区

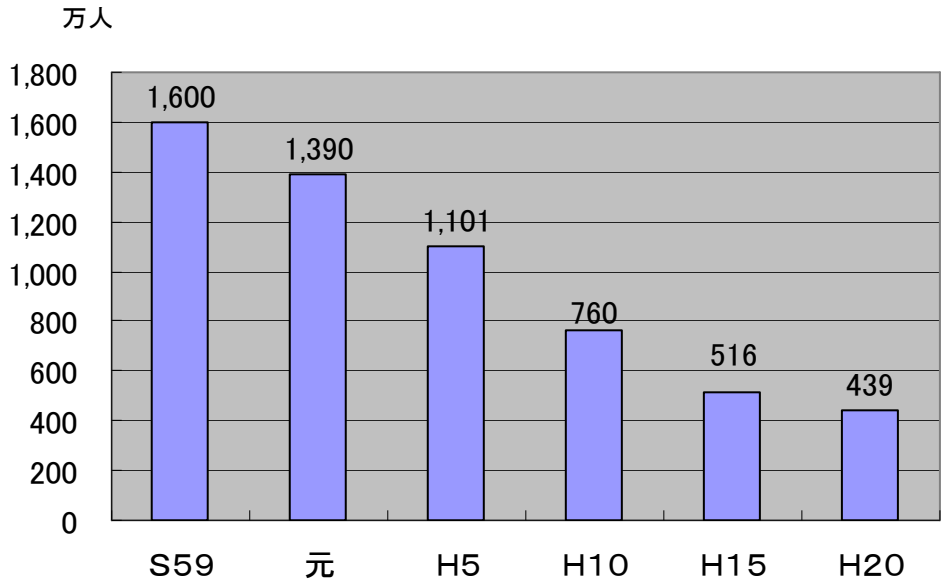


1　倉敷市における現状と課題

■バス路線の現状

◆30年間で市内の乗合バス利用者は**1／5に減少**
◆市内の乗合バス51路線（岡山運輸支局届出系統数）のうち、**約半分の27路線は5回／日以下**
◆平成14年2月の道路運送法の改正による規制緩和以後、**約半分の42路線が廃止**

市内の乗合バス利用者の推移



資料：市統計資料

バス路線数

事業者名	全路線数	10回/日以上	10回/日未満～5回/日以上	5回/日未満
両備ﾎｰﾙﾃﾞｲﾝｸﾞｽ	26	6	3	17
下津井電鉄	19	9	3	7
井笠鉄道	2	1	1	
岡山電気軌道	2	1		1
中鉄バス	1			1
JR中国バス	1			1
計	51	17	7	27

H24.4現在

2　倉敷市地域公共交通総合連携計画

■基本理念

～市民の暮らしが便利で快適な、活力あるまちを目指して、
みんなで公共交通を「守り」「育て」ます～

■基本目標

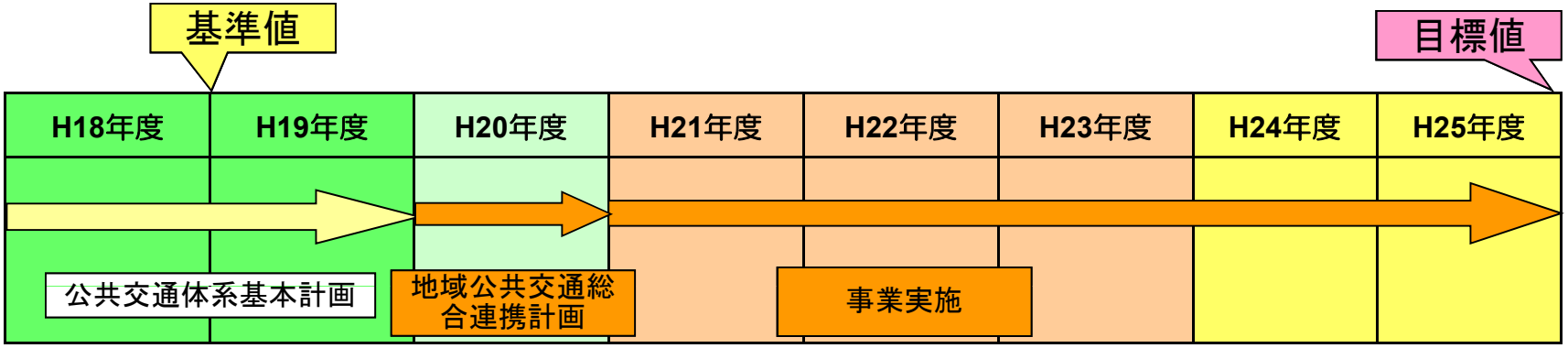
○市民の暮らしを支え利用目的にあった便利で快適な公共交通を目指します
○各拠点を公共交通でしっかり結び、高齢化社会や環境問題に対応できる“くるまに頼り過ぎないまちづくり”を目指します
○みんなで「守り」「育てる」公共交通を目指し、地域市民・地域企業、公共交通事業者、行政が一体となって維持・充実に取り組みます

■役割分担

2　倉敷市地域公共交通総合連携計画

☆公共交通を維持・充実させるため、利便性向上や利用促進などのハード・ソフト施策を展開

■目標年次



■目指すべき指標

● 公共交通が利用しやすい地域に住んでいる市民の割合
□平成18年度の公共交通のカバー圏（駅やバス停留所が近くにあるエリア）を維持
【人口カバー率53．6%を維持】

● 公共交通（鉄道・路線バス・乗合タクシー）利用者数
□平成18年度の公共交通利用者数を維持
【利用者数2，117万人を維持】

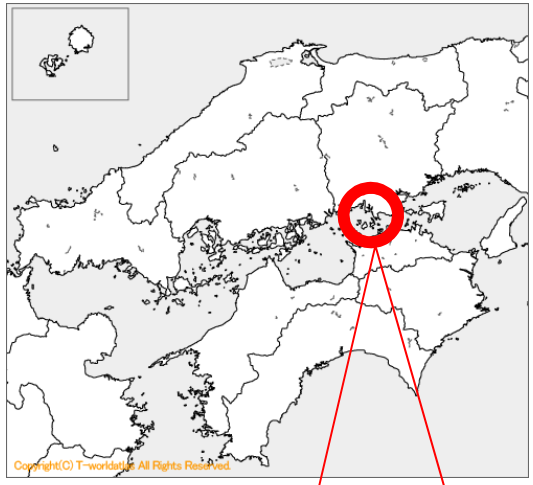
● 公共交通利用者の満足度
□アンケート調査による平成24年度の満足度を、平成18年度より1割増加
【32．4%を35．6%に増加】

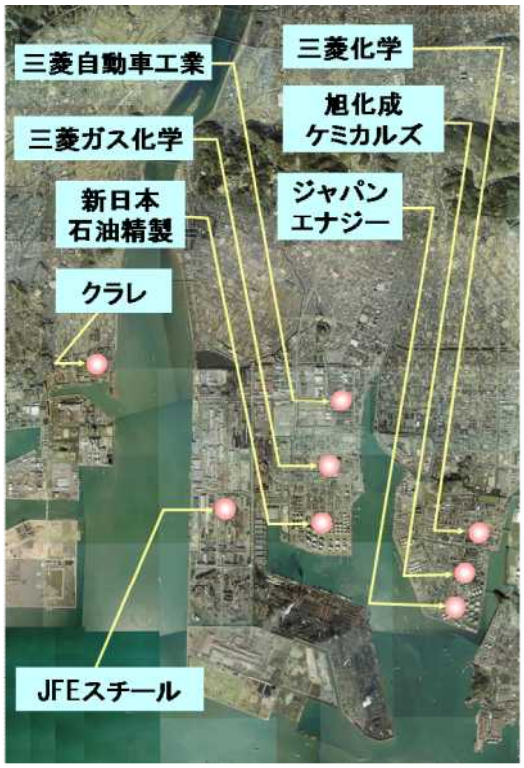
3　地域公共交通活性化・再生総合事業

総事業費　47，877千円　16事業（コミュニティバス運行費補助を除く）

項目	実施事業	事業主体	実施年度
地域との協働による再編	西坂地区乗合タクシー再編 （車両購入、停留所整備、チラシ作成等）	平和タクシー	H22
	船穂地区コミュニティバス再編及び試験運行 （停留所整備、チラシ作成等）	山陽タクシー	H21～23
	真備地区コミュニティバス再編及び試験運行 （停留所整備、チラシ作成等）	井笠バス 日の丸タクシー	H22～24
公共交通利用に関する意識啓発	水島コンビナートエコ通勤	倉敷市	H22
	バス教室	下電・両備バス・倉敷市	H22，23
	ＩＣカード等利用促進チラシ作成、バスラッピング	下電バス	H22，23
わかりやすい公共交通案内の充実	公共交通利用促進パンフレット作成	倉敷市	H21
	公共交通マップ作成	岡山県バス協会	H22
	乗換案内情報板整備（JR倉敷駅）	倉敷市	H23
	公共交通時刻表検索システム作成		
	乗換路線図等整備（JR児島駅、JR倉敷駅）	下電・両備バス	H22，23
利用者の利便性・快適性の向上	バス停留所上屋整備（６箇所）	下電・両備バス	H22，23
	バス停留所標識等整備（新設路線）	両備バス	H23
	川辺宿駅パーク＆ライド駐車場整備	井原鉄道	H22
	水島駅パーク＆ライド駐車場整備	水島臨海鉄道	H23
	福井駅・球場前駅駐輪場整備		H21，22

水島コンビナート・エコ通勤





水島コンビナート周辺の主な企業

■事業所数：２５２社
■従業員数：２３，８００人（市内の約６０％）

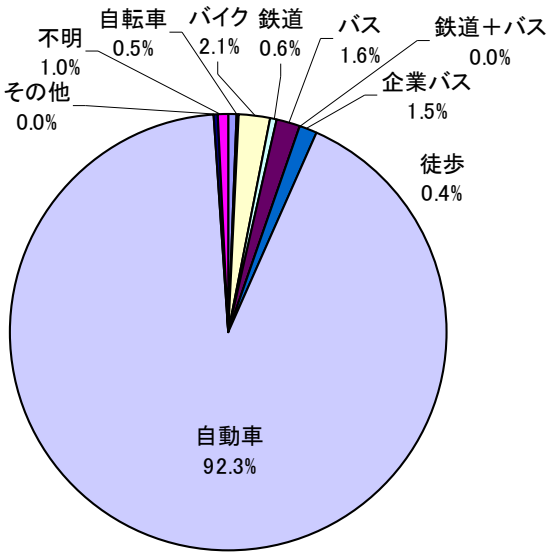
現状と課題

- 通勤手段の約9割が自家用車
- 勤務体制の64%が夜間勤務
- 住居地の約8割が倉敷市内

◆自動車交通需要の抑制策
◆公共交通機関の利用促進策

水島コンビナートをエコ通勤のモデル地区として市全体をけん引

通勤手段



【参加企業】
H20～21：従業員の多い主要企業（11社14，900人）
H22：従業員50人以上の中小規模の企業（7社824人）

水島コンビナート・エコ通勤

■Ｈ２２年度：10月25日～29日（５日間）
中小規模の企業7社の
従業員135人が参加
■従業員へのアンケート
調査によるフィードバック
■啓発冊子、エコ通勤
マップの配布

	企業の規模	参加事業所	CO2削減量	延べ参加人数	1日1人あたりCO2削減量
H20度度	大規模	8事業所	2,004kg-co2	888人	2.3kg-co2/1日・1人
H21年度	大規模	11事業所	2,922kg-co2	1,062人	2.8kg-co2/1日・1人
H22年度	中規模	7事業所	746 kg-co2	135人	5.5kg-co2/1日・1人

課題	対応方針	今後の対応策
通勤手段の確保	・公共交通の維持・充実	・水島臨海鉄道の利便性向上 ・既存バスルートの見直し ・新規路線・企業バスの運行
	・自転車道の整備	・自転車走行の安全生の確保 ・自転車通勤手当の見直し
きっかけづくり	・企業の仕組みづくり	・エコ通勤の情報提供 ・奨励・表彰制度の活用
参加事業所の拡大	・賛同企業の拡大	・市のノーマイカーウィークに併せた呼びかけ

バス教室

路線バスを利用したことがない世代へのMMにより、将来に向けた公共交通の利用促進、家族の交通行動の変容を促す

■体験学習内容
・バスの乗車体験（バス停留所・車内でのマナー、両替の仕方、料金の支払　等）
・車椅子によるバリアフリー体験、降車時の確認、死角などの交通安全について説明
・公共交通利用促進パンフレットやバス関連グッズをプレゼント
・児童の感想文や保護者アンケート調査を実施

■参加状況
Ｈ22年度：2校、220人
Ｈ23年度：5校、690人

クイズ

バス教室の風景

バスのクイズ

バスのダンス

非常脱出口体験

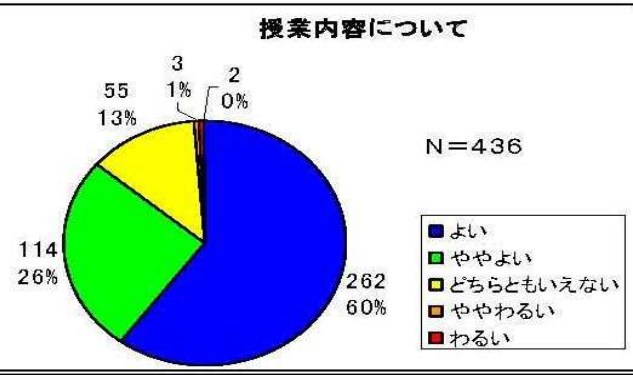
運転席での死角体験

乗降体験

記念品贈呈

保護者の評価

「良い」「やや良い」との意見が88%あり、テーマとしては、概ね良いと判断できる。



「良い」「やや良い」との意見が86%であった。授業内容は良かったと判断できる。自由意見として、「子供が楽しかったと話してくれた」「親の立場でも発見が多かった」といった意見があり、家庭で会話し、保護者への波及が伺える。

コミュニティバスの再編

合併地区のバス運行の効率化と利用促進

■車両の小型化（バス→ジャンボ車両）
■利用者の少ない路線をデマンド化
■均一料金化、値上げ、増減便
■バス停留所の表示内容の改善
■時刻表、路線図、案内チラシの作成

真備地区コミュニティバス

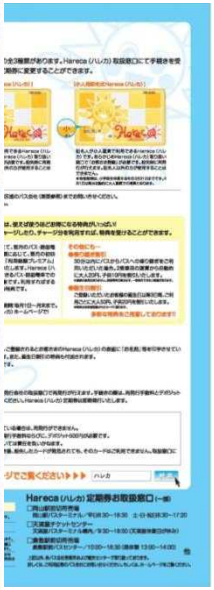
船穂地区コミュニティバス

利用促進パンフレット

ICカード利用促進チラシ

公共交通マップ

ターゲット（転入者・新入学生、児童）を絞ってPR



公共交通乗換情報案内板

交通結節点の利便性向上

広告・観光・
イベント等表示

のりば案内図

JR倉敷駅改札前にモニターを設置

ジーンズバスラッピング

幹線のブランド化による意識啓発

現在、市内路線で計5台が運行

停留所上屋整備

長い待ち時間の環境を向上

利用の多い路線に計６箇所設置

停留所標識整備

市内中心部を循環する路線を新設

パーク＆ライド駐車場整備

住居地から離れた鉄道駅の利用促進

井原鉄道川辺宿駅

■高架下を活用しに駐車場（無料）を増設
（既存41台+新設15台=56台）

利用率：66%→**70%**

水島臨海鉄道水島駅

■高架下を活用し駐車場（有料）を整備
（既存3台+新設16台=19台）

利用率：42%→**78%**

サイクル＆ライド駐輪場整備

自転車により鉄道利用圏を拡大

水島臨海鉄道福井駅

■駐輪場上屋、照明施設設置（既存52台）

利用率：75%→**87%**

水島臨海鉄道球場前駅

■駐輪場及び上屋、照明施設設置
（既存12台+新設16台=31台）
利用率：39%→**80%**

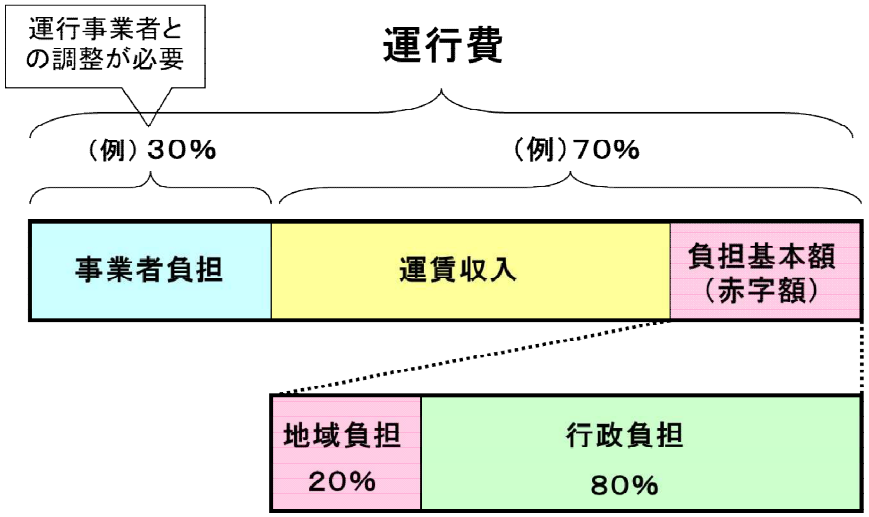
4　地域主体による公共交通の導入　～西坂地区乗合タクシー～

■乗合タクシー制度

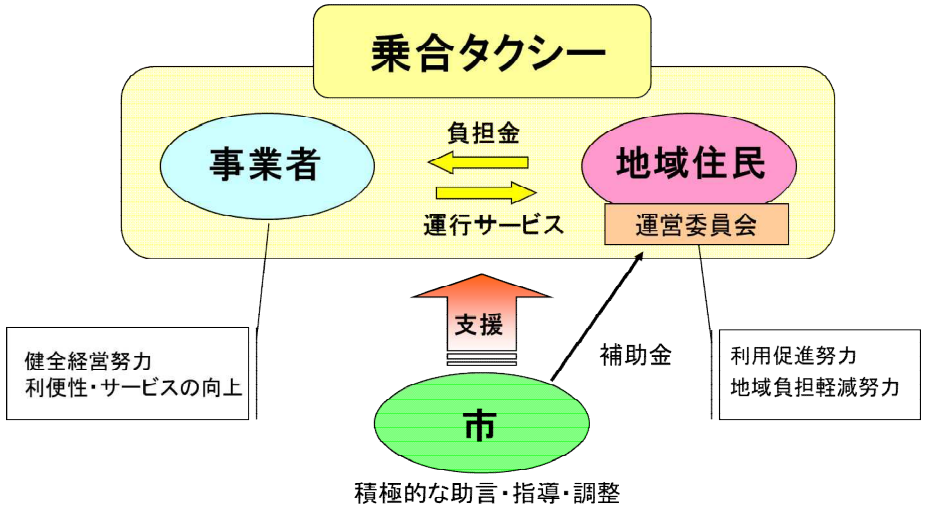
平成18年4月1日に倉敷市乗合タクシー補助制度を設置

- ◆ 自治会等に乗合タクシー事業の運営を行う組織があること。
- ◆ 運行に使用する車両は，乗合タクシー事業者自らが保有する車両であること。
- ◆ 運行経費の一部を**自治会等が負担**していること。

運行費用の負担割合



役割分担



4　地域主体による公共交通の導入　～西坂地区乗合タクシー～

■運行経緯

●H17年1月12日　中鉄バスが倉敷駅～西坂地区～水別（総社）路線の廃止届を提出

●H17年3月　西坂団地町内会と乗合タクシー導入協議を開始（地元協議を10回程度開催）

●H17年7月12日　中鉄バスが路線を廃止

●H17年7月13日　西坂地区乗合タクシーを運行開始

●H20年11月　町内会で組織された**運行主体である運営委員会をNPO法人化**

・毎年交代する町内会組織では、十分な対応ができない
・地域負担をNPO会費で確保したい
・年会費は安くし（1,000円）多くの方に入会してもらいたい
・後継者を育てたい

【地元の思い】
※利便性の向上により、利用者を更に増やしたい
※沿線の住民も利用してもらいたい

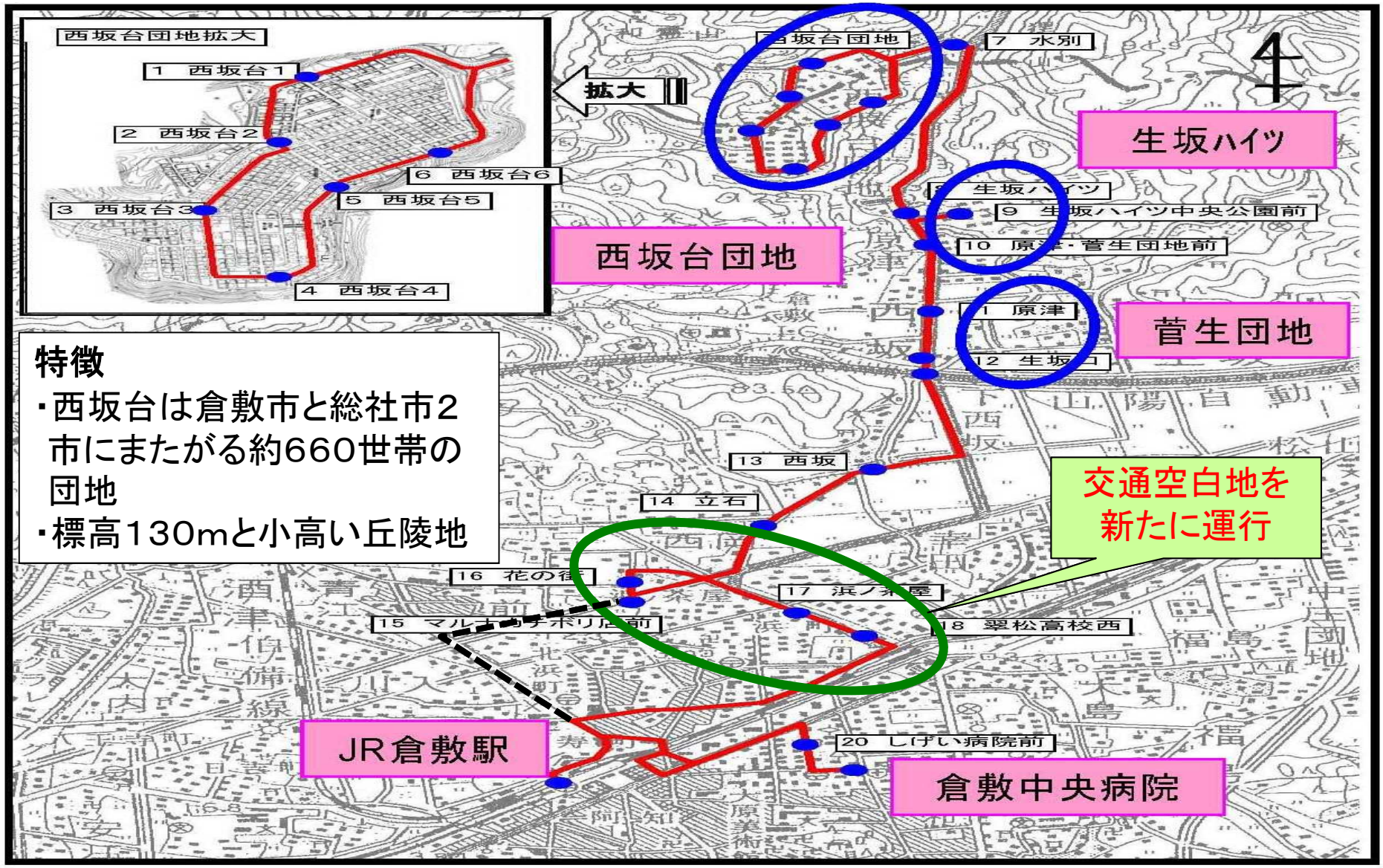
4　地域主体による公共交通の導入　～西坂地区乗合タクシー～

■運行概要

運行主体	NPO法人地域の公共交通を守る会
運行事業者	平和タクシー㈱
運行開始	平成17年7月13日～
運行便数	1日12便　・JR倉敷駅方面　6便 ・西坂地区方面　6便
利用料金	片道　大人　500円（300円） 高校生以下300円（200円）（6歳未満1人目無料）
予約体系及び使用車両	定時運行　6便（ジャンボタクシー） 予約制(デマンド型)　6便（セダンタクシー）　1時間前までに予約
運行日	平日・土曜日（日祝日は運休）
停留所数	21箇所
運行距離	片道11.2km
所要時間	片道　37分
利用者数	6,025人／年（H23）
平均乗車率	2.4人／便（H23）
負担額	1,683千円（ 市 ）　346千円（地域）（H23）

4　地域主体による公共交通の導入　～西坂地区乗合タクシー～

■路線図（鳥かん図）



特徴

・西坂台は倉敷市と総社市2市にまたがる約660世帯の団地

・標高130mと小高い丘陵地

4　地域主体による公共交通の導入　～西坂地区乗合タクシー～

○ジャンボタクシー車両の導入
- 利用者の多い便をジャンボタクシー（９人乗り）で運行
- 稼働率の高い便を定時運行

○運行エリアの拡大
- ルートに近い交通空白地を新たに運行

○運行便数の削減
- １日１４便を１日１２便に減便

○料金
- 均一料金から全区間と短区間の２区間均一料金体制
- NPO会員は会員証の呈示で１００円引き

○利用促進
- 利用者にわかりやすい停留所標識の整備、路線図等パンフレット、ポケット時刻表を作成

【地元の将来の夢】

→すべての便をジャンボタクシーで定時運行したい

→ジャンボタクシーから小型バス車両で運行したい

→市の補助金に頼らず、運送収益とNPO会費でまかないたい